

史 談

2024 (R 6) 9. 24

■令和6年度史談会総会を開催しました

稔りの秋を迎えていますが、残暑とはいいいがたい暑さが続いています。皆様には御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度の総会を下記のように開催いたしました。あわせて東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター長・教授の北野博司先生の講演会も実施いたしました。概要を報告いたします。

記

- 1 期日 令和6年6月23日(日)
- 2 場所 十王地区コミュニティセンター
- 3 時間 午後1時30分から総会、講演会
- 4 総会内容

- (1) 令和5年度事業報告、決算報告
事務局提案通り承認されました。
- (2) 役員改選

平吹会長が健康上の理由で退任なされました。その関係で下記のように一部役員の変更が承認されました。

在任期間は前任者の残りの任期ということになりますので、今年度1年間です。来年度は役員の改選が行われます。

顧 問	江口儀雄(留任)
	平吹利数(新任)
会 長	守谷英一(新任)
副 会 長	佐藤京一(留任)
事務局長	加藤晃一(新任)
幹 事	高橋克範(留任)
	横山和浩(新任)
幹事・会計	竹田伊智子(留任)
監 事	嶋林淳子(留任)
	長澤千恵子(留任)
事 務 局	大内(石井)紀子(留任)

- (3) 令和6年度事業計画、予算案審議
- (4) その他

5 講演会 午後2時45分から

- (1) 講師 北野博司氏

東北芸術工科大学文化財保護センター所長

- (2) 演題 「絵図を読む楽しさと恐さ」



講師の北野先生は、石川県の御出身で2000年から東北芸術工科大学にお勤めです。石川県加賀市の御実家は1月の能登半島地震に遭われるも重大な被害は受けなかったとおっしゃる。

講演ではいわゆる「絵図」の説明から始まり、御自身が学生たちとともに研究した山形城の絵図面を中心にお話してくださいました。

絵図は多くの情報を含むものであるとともに、色々な間違いなども含むものであり、それを読む楽しさがある反面、恐さもあるものであることを1時間半にわたりお話しいただきました。

様々なことを学ぶことができた充実した時間でした。

6 懇親会 午後5時から開催

■会長に就任して

守谷英一

平吹利数前会長が御健康が優れないことで御退任なさるということで、会長を引き受けることになりました。

白鷹町史談会の前身の郷土史研究会時代には、会長はその当時の町長さんが務められていました。また、白鷹町史談会になってからは、菊地

保助氏、金田章氏、荒川幸一氏、奥村幸雄氏、近年になってからは、江口儀雄氏、丸川二男氏、そして平吹利数氏と、それぞれに業績のある方々が会長を務められました。

このような先輩方を引き継いで会長を務めることについては、私自身、力不足を実感しています。けれども、皆様に助けられながら一生懸命努めて行きたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

■史談会研修旅行を開催します

本年度の史談会研修旅行を下記のように開催します。お友達を誘って、ぜひ御参加ください。

- 1 期日 令和6年10月18日(金)
- 2 場所 小国町
 - ①おぐにふるさと文化館 「百石」
 - ②大宮子易両神社 (大宮講の絵馬掲示)
 - ③産小屋 (かつてのお産の施設)
 - ④円長寺 (地獄絵図) *追記 光岳寺に変更
- 3 日程
 - 8:30 荒砥地区コミセン集合
 - 8:40 出発
 - 12:00 昼食 (そば・天ぷら)
 - 18:00 荒砥地区コミセン帰着
- 4 参加費 (昼食代込み)
 - 会員 1,500 円
 - 会員外 2,000 円
- 4 参加申込 10月8日(火)まで下記に
 - 白鷹町教育委員会生涯学習文化係
 - 電話 0238 (85) 6146

■企画展「白鷹町のあゆみ」を開催しています

町歴史民俗資料館あゆみしるでは、町誕生70周年を記念して企画展を開催しています。

明治時代の大合併で編成された蚕桑・鮎貝・東根・十王・白鷹村と荒砥町ですが、戦後になると行政が担う仕事が広がって人手が足りなくなり、学校や病院、警察署など地域に必要な施

設建設の費用は不足するなど厳しい状況にありました。昭和24年には行財政制度を改革するシャープ勧告が提出され、町村合併が推奨されます。山形県でも25年に県議会で町村合併について問われ、県町村合併促進審議会が開かれました。

白鷹の各町村は最上川を隔てた川東、川西川それぞれで不安を持ちつつも協議を重ねて昭和29年(1954)8月7日に合併が決定され、同年10月1日に一町五ヶ村が合併しました。展示では、町名を決めた時の書類、県が推進した合併地区のポスター(写真右。昭和29年4月20日)などを紹介しています。

また、山形放送が制作(企画は町)した町誕生30周年時(昭和59年)

の映像もご覧になれます。国道348号が一部開通し、活気あふれる白鷹を映した貴重な映像です。

11月2日(土)、3日(日)には最上川に落ちた小判の実物を当館にて展示します。ここ数年は展示されてこなかった小判(写真右)を、この機会にぜひご覧下さい。



■事務局から

町誕生70周年記念と冠をつけたイベントが様々行われています。100周年記念、令和36年(2054)もそう遠くはない未来ですが、2050年の白鷹町の総人口は6,600人と予測されています。そもそも町は存続しているのか、私たちの生活はどうなっているのでしょうか。(大内)